

第2回市民福祉推進委員会 障がい作業委員会会議録（要旨）

- 1 日時 平成24年10月13日（土） 午後1時00分～午後4時00分
- 2 場所 あいとぴあセンター301会議室
- 3 出席者 委員長 岩崎 晋也 副委員長 須崎 武夫 米澤 薫
委員 小野 翠 土岐 毅 徳武 孝 三島 瑞子
中川 信子
事務局
福祉サービス支援室長（小川正美）
介護支援課長（高橋 治）
福祉サービス支援室総合調整担当主査（平山 剛）
福祉サービス支援室障がい者支援担当主査（小原正枝）
福祉サービス支援室障がい者支援担当主事（九鬼統一郎）
福祉サービス支援室総合調整担当主事（佐藤葉月）
- 4 欠席者 なし
- 5 資料 資料1 相談支援PT報告
資料2 就労PT報告
資料3 療育PT報告
資料4 災害PT報告
資料5 居住支援PT資料
資料6 計画進捗状況報告
- 6 議題 1. 各プロジェクトチームの進行状況等について
2. 新規事業の進捗状況等について
3. その他
- 7 議事

1. 各プロジェクトチームの進行状況等について新規事業の進捗状況等について【資料1～5】
《委員長・委員・事務局から資料1～5について説明》

(委員長)

- ・各プロジェクトも立ち上がったところなので今後進捗状況の管理などをするためにも今後の障がい作業委員会で報告していただきたい。

2. 新規事業の進捗状況等について

(委員長)

- ・情報提供については、ホームページや障がい者のしおりなどを障がいを持っている人達が見やすいものに変えてほしい。聴覚・視覚・知的の障がいがある方など、障がい種別によって見やすさに違いがあることから、障がい種別ごとに違った媒体が提供できるよう工夫をお願いしたい。

(委員の意見)

- ・子育てのホームページは外部に委託して作成したと聞いた。とても見やすくなっていることから、外部委託なども検討してみてはどうか。

(委員長)

- ・市職員への研修については、スポット的なものではなく、新人研修、中堅職員研修、係長研修、課長研修など、連続した研修の1コマとして、研修の機会のたびに行っていただきたい。

(委員の意見)

- ・障がいのある方にとって、「読み解き」というのも大切な事である。そういう対応ができるような接遇研修もお願いしたい。
 - ・接遇で障がい者への「読み解き」を全ての職員が修得するというのは、とても難しいことだと思う。しかし、障がい者本人にとって、市役所に行くというのはとても緊張すること。市の対応次第で相談しやすさが変わってくるので、障がい関連部署だけでもそういう研修をお願いできればありがたい。
- (事務局) スポット研修になってしまうかもしれないが、将来的には接遇研修にもそういうことも組み込んでいければと思っている。

(委員長)

- ・市職員への研修については、スポット的なものではなく、新人研修、中堅職員研修、係長研修、課長研修など、連続した研修の1コマとして、研修の機会のたびに行っていただきたい。

(委員の意見)

- ・障がいのある方にとって、「読み解き」というのも大切な事である。そういう対応ができるような接遇研修もお願いしたい。
- ・接遇で障がい者への「読み解き」を全ての職員が修得するというのは、とても難しいことだと思う。しかし、障がい者本人にとって、市役所に行くというのはとても緊張すること。市の対応次第で相談しやすさが変わってくるので、

障がい関連部署だけでもそういう研修をお願いできればありがたい。

→（事務局）スポット研修になってしまうかもしれないが、将来的には接遇研修にもそういうことも組み込んでいければと思っている。

（委員の意見）

- ・ 自立生活支援プログラムについて、社会福祉協議会で試行ということで事業を行ったが、とてもよい効果が見られた。家族を伴わない外出や社会参加など、最初からあきらめていたことに対する意欲の向上などが見られた。可能性の広がりを感じた。

（委員長）

- ・ 町田で行っている事業への参加費の助成を想定していたが、そういうことなら社協で事業化するということも考えられる。事務局と社協で相談してぜひ実現してほしい。
- ・ ニーズ調査は計画策定に向けて必要なもので、障がい者全件調査に加えて、市民の無作為抽出で 1,000 件くらいの意識調査をお願いしたい。
- ・ かかりつけ医と当事者間で使用する情報共有ファイルの導入については、市内の医師会で共通様式になっていると、医師も見やすいと思うので、ぜひ導入してほしい。

（委員の意見）

- ・ 他市で実施されていて、使いやすい様式も出ていることから、それを実際に使っていけるように検討していったほしい。

（委員長）

- ・ 保健師による対象者への定期的な訪問については、現在市に精神の保健師がいるということなので、実施は難しくないと考えられるので、ぜひ実施に向けて検討していただく。
- ・ 健康維持のための生涯にわたるスポーツの推進については、健康増進室の障がい者の定期的な利用など、現在ある資源で運用できないかも含めて検討していったほしい。
- ・ バリアフリー施設（二中体育館など）は、障がい者の団体に優先的に貸し出すなどの措置も検討していただく。また、二中の施設を使って障がい者スポーツのイベントを開催するなども検討してほしい。

（委員の意見）

- ・ 今でもあいとぴあのプールがあり、障がい者スポーツの推進という意味では行っていることもあると思う。より一層の活用を考えてはどうか。

（委員長）

- ・ 障がい者スポーツ指導員研修受講者への助成については、引き続き検討をお

願います。

- ・障害者基本法にもとづく、審議会その他の合議制の機関「障がい者政策委員会（仮称）」の設置検討については、重要な課題なので設置に向けて検討を進めてください。ただ、いろんな委員会があるので、それらの関係性の整理も含めて考えていってください。
- ・進んでいる計画もたくさんあり、3年間で実施していけそうである。それでこそ計画を作っている意味があると思うので、

3. その他

（委員長）

- ・次回の委員会の日程について2月16日（土）午前9時30分からどうか。

《委員全員 了承》

（委員長）

- ・それでは、次回の委員会は2月16日（土）午前9時30分からとする。

閉会